

「第33回 北九州市PCB処理監視会議」実施結果

北九州市環境局

1 日時・場所

- (1) 日時：平成27年1月19日（月）14：00～16：10
- (2) 場所：若松市民会館 小ホール
- (3) 出席委員：浅岡座長、是永委員、清田委員、河井委員、吉永委員、大石委員、嶋津委員、津田委員、成田委員、古野委員

2 議事

- (1) 北九州 PCB 廃棄物処理施設の操業状況について
- (2) 今後の安全かつ一日も早い処理完了に向けた取組みについて
- (3) その他

3 主な報告、質疑応答等

[議題1：北九州PCB廃棄物処理施設の操業状況について]

(現在の17県分のPCB廃棄物の受入状況について)

- JESCOから、北九州PCB処理施設におけるPCB廃棄物の受入状況について、トラブルもなく順調に処理が行われた結果、トランス類は82%、コンデンサ類は88%、安定器は84%（平成26年12月末現在）となったとの報告が行われた。

(環境モニタリングの結果について)

- JESCOから、周辺環境及び排出源ともに、PCB等の全ての項目が環境基準・協定値等に適合していたとの報告が行われた。

[議題2：今後の安定かつ一日も早い処理完了に向けた取組みについて]

(北海道PCB処理事業視察実施結果について)

- 昨年11月実施の視察に参加した委員の代表から、視察内容の報告が行われるとともに、総体として、安全かつ早期の処理を進めるために必要な事業所間でのノウハウの水平展開に繋がる有意義な視察であったとの発言があった。
- 続いて、その他の参加委員から、視察の所感についての発言があった。

【質疑応答】

- 北海道PCB処理事業所でのヒヤリハット活動の報告を受け、北九州PCB処理事業所でのトラブルの未然防止対策はどのように行われているかという監視会議委員からの質問に対し、
- JESCOから、リスクアセスメント推進活動等のトラブルの未然防止対策を進め、一定の成果を上げているため、今後も引き続きこのような取組みを通じてトラブルの未然防止・削減に努めていくとの回答があった。

(本市受入条件の履行状況について)

- 環境省から、本市受入条件の全体の履行状況に加え、処理の安全性確保、期間内での確実な処理、地域の理解の促進に関する具体的な取組内容の説明が行われ、今後もJESCOとともに確実に取組みを進めるとの発言があった。
- また、平成33年度末（計画的処理完了期限）までの工程表として、処理の見通し及び国、JESCO、都道府県市や関係機関における今後の取組みのスケジュールについて説明が行われた。
- JESCOから、具体的取組みとして、施設の健全性の確保やトラブルの水平展開などの安全対策、直近の処理対象量に基づく処理の見通しや処理推進策、また、地域の理解を深めるための情報公開や交流促進などを引き続き進めていくとの説明が行われた。

(北九州市の取組みについて)

- 本市から、これまでの取組みとして、PCB輸送経路の安全対策、広域協議会における関係自治体への取組強化の要請、市民の理解を促す環境見学ツアーの実施状況などについて報告を行った。
- また、本市における今後のPCB廃棄物処理の方針案について、北九州市PCB廃棄物処理計画の改訂案の内容を中心に説明を行った。

[議題3：その他]

(監視会議の機能強化について)

- 本市から、今後の監視会議の機能強化を図るため、従来の処理の安全性確保に加え、早期かつ計画的な処理の推進などを監視事項とするとともに、これに合わせて監視委員の増強を行う旨の説明を行った。

(処理事業に関する情報公開について)

- 今回の会議で報告・説明された内容を含め、PCB処理に関する情報は専門的であり、市民の理解を深めていくためには、実際の処理を実感できる内容を盛り込むなど、分かりやすく情報公開していく工夫が必要との意見があった。

以上